

2017年11月

藤原直哉の学びのカフェ

～遠山郷出会い旅～

遠山郷で心の休日・懐かしい未来との出会い

11月：遠山郷の歴史に出会う

遠州と信州を結ぶ歴史古道・青崩峠を訪問



研修日程：2017年11月25日（土）・26日（日）

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修企画：株式会社あえるば（旧社名 シンクタンク藤原事務所）

旅行企画・実施：株式会社南信州観光公社

<1. はじめに>

このたびは、2017年11月藤原直哉の学びのカフェご案内要綱にお目通しいたいただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、訪れた人はその日本の原風景の体験に魅かれています。

遠山藤原学校は昨年2016年には開催10周年を記念するにいたりまして、2017年からは新しい10年のスタートとなります。11年前、私はこれからの時代を生き抜く知恵を皆とともに学ぶにふさわしい場所を探して全国を視察しておりました。その中でご縁をいただいた場所が遠山郷です。高齢化の波にのまれそうになりながらも、雄大な自然とともに生きる知恵を受け継ぎたくましく生きる人々とお会いしたときに、日本のこれから進むべき道がはっきりと見えました。この秘境でしかできない教育がある、その思いを強く抱きながら11年遠山郷での研修を続けてまいりました。

遠山藤原学校10周年となる昨年より、当初の「遠山藤原学校」という名称から「藤原直哉の学びのカフェ」に変更いたしました。「カフェ」という場所は、老若男女誰でも一緒に空気を共有してありとあらゆるテーマの話題が交わされ、皆が肩に力を入れることなくリラックスしながら過ごすことのできる場所です。「学校」という言葉の響きは、人を平均値や中央値にならしていく不自然でロボットのような人生設定機関を連想させますが、「カフェ」は外れ値や特異値を良しとする雰囲気になった、生命と新しい人生・社会の希望を思い起こさせる言葉で、何ひとつ同じものがない大自然のゆらぎを感じながら学んでいただきたいという思いを込めております。「カフェ」ですので実際に、吟味された豆を挽いて手で淹れる本格コーヒーを味わっていただきながら私の講演をお聴きいただく機会も設けております。

11年目となる節目の今年2017年、内容も模様替えいたします。2016年のアメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利を収め、それを起点にネオコン連中が追われる身となりその影響が全世界的に広がっています。世界の体制は大峠を越えました。これからは変化による痛みを伴いながらも、新しい時代の幕開けが感じられることでしょう。「藤原直哉の学びのカフェ」も時代の流れとともに変わってまいります。これまでは、暗く冷たい時代をどう生き延びて未来に自らがどう光明を見出していくかを模索していただくために、普段とは違う環境に身を置いて2日間ともに座学研修を設けて、生き方や時代の動きを学んでいただくスタイルでした。

しかし今、新しい方向に舵が切られました。人々が求めるものは共生であり分かれ合いです。思考もさることながら直感が大事にされます。豊かな自然環境に足を運んでいただくわけですから、都会ではできないことを体験していただく機会をご用意いたします。毎回特集メニューを組みましていろいろなものを見学、体験していただきます。地元の方々、学びのカフェスタッフとの懇親、語らいがあります。それらは現在においては非日常のことかもしれません。でもかつては、それらが日常の光景だったのではないのでしょうか。今年のテーマは「遠山郷で心の休日・懐かしい未来との出会い」です。

<2. 研修の内容>

一泊二日の研修の大まかな流れですが、まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります道の駅「遠山郷」内の、遠山郷観光協会の施設「アンバマイ館」に集合していただきます。その後昼食をおとりいただき、和田地区内にあります龍淵寺、和田城を

見学します。その後、途中遠山川沿いの埋没木と熊野神社に立ち寄りながら、車にて木造校舎が美しい旧木沢小学校へまいります。到着後は校舎や木沢地区を“ぶら歩き”して、私たちスタッフが遠山郷での拠点としております通称「木沢の家」でお茶会を行います。藤原直哉がお抹茶をお点ていたします。窓を開ければ目の前に広がる里山の光景が、暗くしての夜話スタイルなら和ろうそくのゆらぎが心を休めます。その後はまた和田地区へ戻り、当日の宿泊先である道の駅「遠山郷」内の「かぐら山荘」にチェックインした後、かぐらの湯の温泉に浸かり、次いで夕食・懇親会、ご希望の方は二次会としてカラオケスナック舞夢(マイム)へまいります。

2日目の今回11月の特集は「遠山郷の歴史に出会う」です。日本列島を縦断して遠山郷の下を通る中央構造線沿いに位置し、信州と遠州、長野県と静岡県を隔てる青崩峠を皆さんで歩きたいと思います。お宿を出発後、車で梁木島(はりのきじま)番所跡、大野田神社、兵越(ひょうこし)峠、足神社と立ち寄り、青崩峠へと向かいます。

なお、青崩峠は大雨が降ったり大雨の直後は危険ですので行くことができません。さらに遊歩道、林道、車道が通行止めの場合にも行くことができません。その場合には日曜日の朝から、人形劇で有名な飯田市内の川本喜八郎人形美術館など、飯田市内の歴史ポイント等を見学して遠山郷に昼ごろ戻ってきます。あらかじめご承知おきください。

その後、車で旧木沢小学校まで移動し、そちらにて昼食をとっていただきます。その後、藤原直哉の時局展望講演会を行い、研修旅行の終了、解散となります。電車でお越しの方はJR平岡駅までお送りいたします。

<3. 見学場所のご案内>

1日目の昼食後にまず向かう龍淵寺は地域の有力豪族であった遠山氏の菩提寺です。遠山氏の居城跡に建てられたその境内には樹齢500年の観音大杉があります。これは根元が一体となった4本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。さらに龍淵寺には7年前に再建された総けやき作りの立派な観音堂があります。このお寺では長くお写経を続けていて、奉納されたお写経がこの観音堂に納められています。光堂と名付けられた観音堂からは和田宿が一望できます。その境内に沸く観音霊水は400年以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしい水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、名水のなかでカルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多いということが判明しています。ぜひ味わってみてください。

龍淵寺のお隣にある和田城は遠山郷の郷土資料館で、この地区に数百年前から伝わる国の重要無形民俗文化財、遠山の霜月祭りのビデオや複製の面(おもて)、また林業に関する展示、さらには遠山氏の子孫の方が伝えている宝物などを見学します。ここでは目の前の観音霊水で入れた大変おいしいコーヒーが提供されていますのでこちらで一息ついてください。

その後に訪問する旧木沢小学校は、遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設です。旧木沢小学校は、平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が木沢地区活性化推進協議会という団体をつくって、木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である遠山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画会の開催、引っ越しのサカイのCM撮影などが行われていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。

また、旧木沢小のすぐ近くには遠山藤原学校農園があります。この農園は廃耕地となって

いた畑をお借りして、手弁当で駆けつけてくださる遠山郷ボランティアスタッフと地元のみなさんが力を合わせて開いた農園です。今年は、経済的な事情から家庭で十分な食事が得られない子どもたちに食事を提供する「子ども食堂」へのご縁を探り、採れた作物をそういった施設に提供する目的を持って運営します。またここでは21世紀の肥だめとして注目されている新しい複合発酵技術を使った液肥を作り、散布しています。その様子もご覧いただけます。旧木沢小学校がある木沢地区はかつての林業の拠点であり、光岳や聖岳を目指す南アルプス登山の玄関口であるため見渡せば美しい山々に囲まれています。その木沢地区を少し歩いてみましょう。同じ木沢地区にある梨元停車場はかつて遠山森林鉄道の起点、梨元貯木場があったところで、昭和40年代に森林鉄道が廃止されてからは南アルプス登山の玄関口となっています。この構内にはかつて森林鉄道を走っていた機関車と客車が静態保存されていたのですが、3年前から地元の有志が夢をつなごう遠山森林鉄道という団体を作り、鉄道をもう一度動かそうと立ち上がりました。そして地元や各地の専門家の応援を得ながらついに機関車が動くようになり、地元の有志が線路をかき集めてきて今や300メートルほど軌道を整備し、さらに地元の大工さんに走行可能な客車を復元していただき、ついに遠山森林鉄道の車両が動くようになったのです。夢を現実にしてしまう地元の方々の熱い思いが結集された場所です。

遠山温泉郷「かぐらの湯」の源泉は、全国でも珍しい43度の高濃度塩化物温泉で、体がよく温まり、浴室内で温泉を飲用することもできます。この地域は今回見学予定になっている中央構造線のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所ですが、この温泉はそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉です。

夕食は歩いて数分の山肉料理の老舗専門店、星野屋にて、遠山郷の郷土料理である鹿やイノシシなどの山肉料理を囲みながら地元の方々を交えての懇親会となります。野生の動物の肉はジビエ料理として都会でも最近人気を集めていますが、遠山郷はそのジビエの本場です。何しろ野生ですから配合飼料などは一切食べずに、完全に自然の無添加のえさだけを食べて育っています。まさに完全無添加のお肉に舌鼓を打ちながら、遠山郷の皆さんと交流してください。お肉を召し上がらない方はお申し込み書にその旨の記載欄がございますのでそちらでお知らせください。旅先の思い出は何と言っても人との交流ですが、一般的な旅行ではなかなか旅先の地元の人たちとじっくりと交流するという機会はなかなか持てません。しかしこの学びのカフェでは10年にわたるご縁で地元の方々とも深いおつき合いをさせていただいてますから、ぜひこの機会に地元の方との懇親をお楽しみください。学びのカフェの醍醐味の一つはそこにあります。

懇親会後はお休みになられる方はそのままお宿の方へ、ご希望の方は星野屋さんお隣のカラオケスナック「セラード舞夢 (まいむ)」でカラオケの二次会です。実は毎回、遠山藤原学校はこの二次会の舞夢が大変盛り上がるのです。昭和の香りが色濃く残るスナックで、ときに貸し切り状態で参加者の皆さんが本当にリラックスして語り合い、歌う姿はとても明るく温かい雰囲気満たされています。どうぞ遠山郷の夜を舞夢で元気にお楽しみください。

2日目はお宿で朝食をいただいた後、さっそくバスで青崩峠方面に出発します。青崩峠とは国道152号線、昔の街道名でいえば秋葉街道にある要衝で、標高は1082メートル。信濃と遠江(とうとうみ)、今の言葉でいえば信州と遠州、長野県と静岡県を隔てる峠で、中央構造線沿いにあります。今回はこの青崩峠をみなさんで歩いて越えてみます。まず車で国道152号線沿いの梁木島(はりのきじま)番所跡に着きます。ここはかつてこの地域を治めていた遠山土佐守が徳川家康の命により大坂夏の陣・冬の陣で敗走した豊臣方の落人を取り締まっていた関所跡で、その後は遠山郷から搬出する材木の取り締まりなどを行っていたところでした。現地には当時の建物がそのまま残っていますので、これを外側から見学します。そしてバスはいよいよ険しい峠道に入ります。途中、バスは此田(このた)という大変眺望の良い集落を通ります。そしてこの集落の最も高いところにある、大野田神社に行きます。この神社は南朝方第3代長慶天皇を祀(まつ)った神社と言われていて、非常にすがすがしい

神社の境内には天国のような不思議な雰囲気が漂います。南北朝時代には中央構造線沿いに吉野の南朝の都から多くの皇子や武士たちがこの地域に逃れてきました。この神社もそういう歴史の大転換期に南朝方の天皇が来た場所としてお宮を建てたようです。

そしてバスはそこからさらに登って**兵越(ひょうこし)峠**につきます。この峠は標高が1165メートルあり、青崩峠があまりにももろくて車道を通せないためにう回路として整備された峠です。かつて武田信玄が徳川家康を攻める際、信州から遠州に兵を進めるときに通った峠と伝えられています。実はこの青崩峠、兵越峠は非常に険しい峠で、特に冬は雪が降ると不通になり、地元の人たちにとってはここに立派な車道がつくことは長年の悲願でした。そして現在、青崩峠の南北には青崩トンネルという長大トンネルを通す計画が進められており、2014年3月に着工され、遠山郷内の道路にも工事に関するトラックが結構見られるようになりました。地元としては一日も早くこのトンネルが開通して、信州と遠州の行き来が楽にできることを祈っているのです。そこで峠の北側の飯田市・南信濃の商工会と南側の浜松市・水窪(みさくぼ)の商工会がここで毎年一回、両者の交流を盛んにすることを目的に**峠の国盗り綱引き合戦**を行っています。これは3本勝負の綱引きで、勝った側に国境が1メートル動くというもので、双方とも毎年精鋭を揃えて練習特訓に励み勝負をしています。今年は残念ながら台風の影響を考慮して中止となり地元の方々も大変残念がっています。

バスは峠を水窪側に下り、改めて水窪側から青崩峠直下に向かう道を登っていきます。途中に**足神社**があります。この神社は鎌倉時代に北条時頼の足の痛みを治した辰次郎という地元の人を祀った神社で、全国でも珍しい足の神様を祀る神社です。とても神気あふれる神社です。それからバスはその奥の駐車場で止まります。そこから我々はまず20分の遊歩道を青崩峠に向けて登ります。道は昔の青崩峠そのままに立派な**石畳**になっていて、かつてここを人や馬が頻繁に行き来した時代の光景が彷彿とよみがえってくるようです。やがて石畳が終わってなだらかな坂を登ると、ひょっこり**青崩峠**につきます。ここからは信濃と遠江の両方の国の山並みが細長く見渡せて、改めてここが太古の昔から日本に伝わる長大街道だったのだと納得します。本当に中央構造線沿いの地形は雄大なのです。今回の研修では天気や道の様子を見て、峠や峠から遠山側に降りたあたりで散策します。さらに往時の狭い人道も残っていますし、非常に大胆な自然の光景をご覧ください。

交通のご案内です。電車でお越しの方は、まずJR飯田線の平岡駅までお越しください。東京方面からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋でJR飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。平岡駅から道の駅「遠山郷」内にあるかぐらの湯バス停までは乗り合いタクシーをご利用ください。お1人600円、所要時間約20分、特急の到着に連絡していますので、下車後改札を抜け、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は12時10分、かぐらの湯には12時30分に到着です。そしてアンバマイ館はかぐらの湯バス停の目の前です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田インターチェンジから約1時間です。カーナビで「かぐらの湯」を設定いただくと、他のインターチェンジが表示される場合がありますが、飯田インターで降りていただく方が道も整備されており運転もしやすいかと思われます。

日曜のお帰りですが、午後4時に旧木沢小学校で解散。電車でお越しの方はJR平岡駅までお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、平岡駅を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり530号に乗り換えて、東京には20時10分に到着という行程がよろしいかと思えます。

2017年10月吉日
株式会社あえるば(旧社名 シンクタンク藤原事務所)
会長・経済アナリスト 藤原直哉

<4. 研修日程表>

11月25日(土)

時間	予定	写真
12:30	集合 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45	昼食 温泉施設「かぐらの湯」内「味ゆ〜楽」にて	
13:30	出発 龍淵寺、和田城見学、コーヒータイム	
15:00	見学 旧木沢小学校へ 途中、埋没木と熊野神社見学	
15:50	出発 旧木沢小学校到着後、校舎、農園、見学	
16:30	体験 「木沢の家」にてお茶会	
17:00	出発 「かぐら山荘」へ。チェックイン。	
17:30	入浴 「かぐらの湯」で入浴	
18:30	夕食 星野屋へ 星野屋にて夕食、懇親会	
20:30	終了 懇親会終了。二次会希望者は「舞夢」へ 「舞夢」でカラオケ二次会	

- ・ 動きやすい服装でお越しください。
また冷え込みますので防寒を十分に
なさってください。
- ・ 悪天候の場合は、臨機応変に対応さ
せていただきます。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、別
にペットボトルやポリタンをご用意
下さい。

11月26日(日)

時間	予定		写真	
7:00	朝食	かぐら山荘にて		
7:45	出発	車で青崩峠方面に出発		
8:05	到着	梁木島番所跡		
8:20	出発			
8:40	到着	大野田神社		
9:10	出発			
9:25	到着	兵越峠		
9:35	出発			
10:00	到着	足神神社		
10:10	出発			
10:15	到着 出発	青崩峠水窪側遊歩道入口到着 徒歩にて出発		
10:50	到着	青崩峠	足神神社	
11:00	出発	遊歩道入口まで戻り	水窪側遊歩道入口	
11:30	出発	遊歩道入口到着。バスにて木沢へ出発		
12:15	到着 昼食	旧木沢小学校到着 旧木沢小学校にて昼食		青崩峠
13:00	出発	木沢地区散策		
14:00	終了	終了後、自由時間	旧木沢小学校	
14:30	講演	藤原直哉の時局展望講演会		
16:00	終了 解散	旧木沢小学校にて解散		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>山道を歩きますので歩きやすく温度調整が可能な服装でお越しく下さい。また車酔いにご注意ください。</u> ・ <u>電車でお越しの方は、解散後に JR 平岡駅までお送りします。豊橋方面行特急の平岡出発は 16:42 です。</u> 		

<5. 研修費用> (消費税込み)

大人 1名 (中学生以上)	51,840 円
大人 1名 (中学生以上) :マイカー利用コース (研修行程をマイカーで移動)	41,040 円
子供 (小学生以下) 1名	上記の価格の半額
講演会のみご参加 (日曜 14:30 ~16:00) 1名	5,000 円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です。

(1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、 かぐら山荘 〒399-1311 長野県飯田市南信濃和田 561 TEL 0260-34-5777
・ 食事料金	日程表に記載された昼食 2回、夕食および懇親会 1回、朝食 1回 (なお子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入浴料 ・ 入館料 ・ 講演料 ・ ガイド料 ・ 管理料 ・ 鉄道・バス費用 ・ 旅行保険料	日程表に記載された施設での入浴料、入館料、講演料、ガイド料、旧木沢小学校管理料、日程表内の貸切バス交通費、下記旅行保険料は研修費用に含まれています。 ・ マイカー利用コースには貸切バス交通費は含まれておりません。 ・ マイカーでのご同伴は本隊のバス等とはぐれる恐れ、不慮の事故及びお車の故障等も考えられ 募集型企画旅行では行程に支障が出る恐れもありますので十分お気をつけてご参加下さい。 ・ マイカー運転中は旅行保険の対象外となります。予めご了承下さい。
・ 研修講師	株式会社あえるば (旧社名 シンクタンク藤原事務所) 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡後遺障害 1千万円) 入院 4,000 円 通院 2,500 円補償

(2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

<6. 旅行手配>

株式会社 南信州観光公社	〒395-0152 長野県飯田市育良 1-2-1 りんごの里内 TEL: 0265-28-1747 FAX: 0265-28-1748 営業時間: 8:30 ~17:30 総合旅行業務取扱管理者: 高橋 充	長野県知事登録旅行業 : 第 2-431 号 社団法人全国旅行業協会正会員
-----------------	--	---

<7. 研修要領>

募集人員	<p>10名（最小催行人数1名）</p> <p>参加申込書を株式会社南信州観光公社宛てにお送りください （FAX または郵送でお願いします）。</p> <p><u>お申し込みは11月10日(金)までにお願いいたします。</u></p>											
旅行条件	<p>●募集型企画旅行契約：①この旅行は、(株)南信州観光公社が旅行実施し、参加者は当社と募集型企画旅行契約を締結します。②募集型企画旅行契約の内容は、出発前にお渡しする「ご案内」（最終旅程表）によります。条件は旅行条件書を当社ホームページでご確認いただくか、必要に応じて書面をお送りします。</p> <p>●参加申込書に基づき、旅行開始日の10日前後を目安に参加証・請求書等を作成してお送りします。請求書到着後5日以内に指定の銀行口座へ全額お振込みください。振込み手数料はお客様負担にてお願いいたします。領収書について所定の様式が必要な方は予めファックスにてお知らせください。</p> <p>●最小催行人員にならない場合は中止する場合があります。また、当日の気象、諸状況によりコースの変更や中止となる場合がありますのでご了承ください。</p>											
取消料	<p>契約者が都合により契約を解除する場合</p> <table border="1" data-bbox="491 1070 1375 1339"> <tr> <td data-bbox="491 1070 1088 1160">取消日 10～8日前</td> <td data-bbox="1088 1070 1375 1160">参加費用の20%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1160 1088 1205">取消日 7～2日前</td> <td data-bbox="1088 1160 1375 1205">参加費用の30%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1205 1088 1249">出発日の前日</td> <td data-bbox="1088 1205 1375 1249">参加費用の40%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1249 1088 1294">出発日の当日</td> <td data-bbox="1088 1249 1375 1294">参加費用の50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1294 1088 1339">研修開始後又は無連絡不参加の場合</td> <td data-bbox="1088 1294 1375 1339">参加費用の100%</td> </tr> </table> <p>※お申込内容の変更又は取消をされる場合は、必ずファックス又は郵送にてご連絡ください。電話のお問合せはご遠慮ください。</p>		取消日 10～8日前	参加費用の20%	取消日 7～2日前	参加費用の30%	出発日の前日	参加費用の40%	出発日の当日	参加費用の50%	研修開始後又は無連絡不参加の場合	参加費用の100%
取消日 10～8日前	参加費用の20%											
取消日 7～2日前	参加費用の30%											
出発日の前日	参加費用の40%											
出発日の当日	参加費用の50%											
研修開始後又は無連絡不参加の場合	参加費用の100%											
研修企画（お問い合わせ）	<p>株式会社あえるば 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-13-12 ASUKAビル2F 電話 0465-44-4750 FAX 0465-44-4751</p> <p>電子メール iwamoto@aeruba.co.jp 担当 岩本寛（いわもと ひろし）</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、岩本寛の携帯電話へお願いします。</u> <u>080-9214-0563</u></p>											

<8. 研修概要>

・ 研修名称	2017年11月 藤原直哉の学びのカフェ
・ 日時	2017年11月25日(土)・26日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区および下伊那郡
・ 集合・解散場所	集合：11月25日(土) <u>12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館</u> 解散：11月26日(日) 16:00 旧木沢小学校 <u>なお、当日の緊急連絡は、岩本寛の携帯電話へお願いします。</u> <u>080-9214-0563</u>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演、学習など
・ 研修講師	株式会社あえるば(旧社名 シンクタンク藤原事務所 藤原直哉 および地元、学校スタッフ

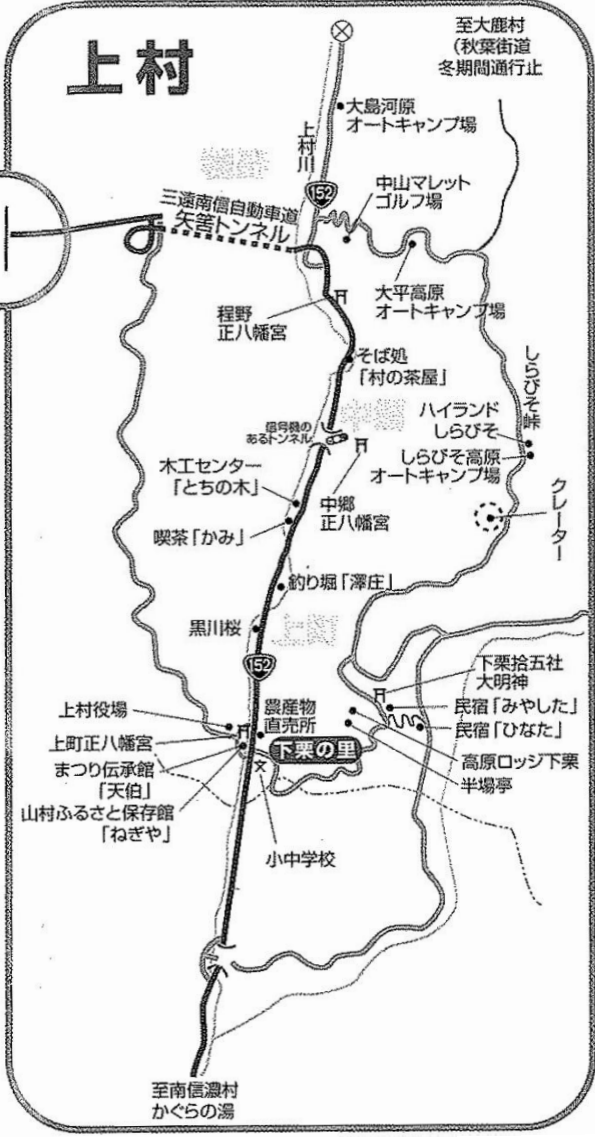
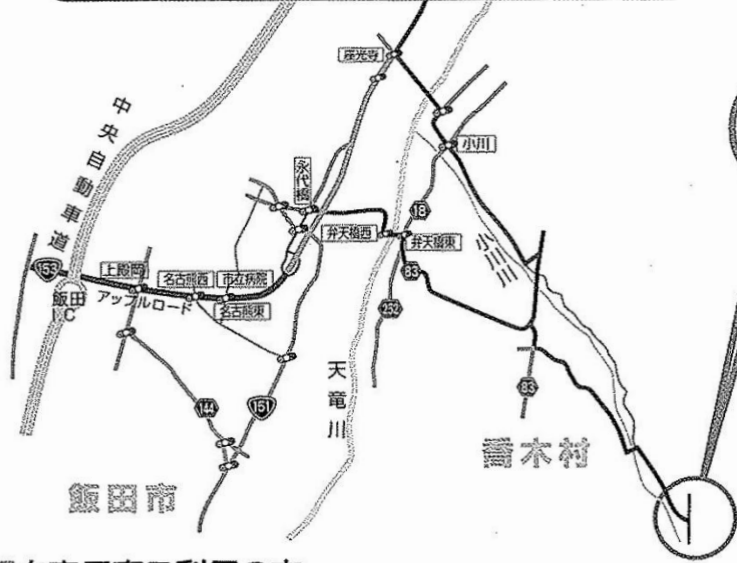
<9. 現地集合・解散場所まで／からの自家用車、電車での交通手段(ご参考)>

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」(かぐらの湯バス停目の前) (電話 0260-34-1071) 中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間 中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間 新東名高速道 浜松浜北インターから、 兵越峠経由で約2時間</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり505号 豊橋 9:56 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 下車後、かぐらの湯まで乗合タクシーで20分 お一人600円 (帰り) 旧木沢小学校からかぐらの湯まで車で10分、 かぐらの湯から平岡駅まで乗合タクシーで20分 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:47 ひかり530号 東京 20:10</p>

<10. 注意事項、および持ち物など>

- ・ 朝晩は特に冷え込みますので、十分に防寒にご注意ください。
- ・ 山道を歩きます。歩きやすい服装をお持ちください。
- ・ 悪天候の場合は臨機応変に対応させていただきます。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。
- ・ 山道を走行いたします。自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

ロードマップ from 飯田



■自家用車ご利用の方

- ・中央自動車道飯田I.Cより県道上・飯田線、三遠南信自動車道矢筈トンネル経由、上村程野まで約26km 飯田I.Cより約40分
- ・中央自動車道松川I.Cより国道153号経由、上・飯田線、三遠南信自動車道矢筈トンネル経由で上村程野まで約32km 松川I.Cより約60分
- ・名古屋方面より国道153号(平谷経由) 国道418号(売木・天龍村経由) 国道152号で南信濃村経由上村まで 名古屋より約3時間30分
- ・浜松方面より国道152号(南信濃村経由) 上村まで 浜松より約3時間

■バスをご利用の方

・程野、上村役場前にて下車し、目的地まではタクシーをご利用下さい。

天竜観光タクシー TEL.0260-36-2015 (ご利用の際は予約を済ませてお出掛け下さい)

<11. 観光タクシー運行>

アップルキャブ南信州タクシー有限公司
〒395-0153 長野県飯田市上殿岡 717-4 TEL 0265-28-2800

申 込 書

2017年11月 藤原直哉の学びのカフェ 11月25日・26日 記入日： 年 月 日

丸印でご希望をご選択ください

・マイカーでご参加
¥41,040 (税込み)

・電車でご参加
¥51,840 (税込み)

フリガナ	性別	男 ・ 女	
お名前	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年 月 日 (満 歳)	
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)			
フリガナ	性別	男 ・ 女	
お名前	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年 月 日 (満 歳)	続柄
フリガナ	性別	男 ・ 女	
お名前	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年 月 日 (満 歳)	続柄

■ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。			
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。		
	部署：	役職：	
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	() -	FAX	() -
携帯電話	緊急時 連絡可・不可		
電子メール	@		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
<small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>			
●ご希望などございましたらお書きください。			
・お肉なしを希望、日曜講演会のみ参加希望、など。			

↑ FAX送信先： 0 2 6 5 — 2 8 — 1 7 4 8 ↑

(株式会社南信州観光公社)

切り取り